

私たち抜きに  
私たちのことを  
決めるな!



# しょうがい者が あたりまえに 生きられる社会へ

Nothing about us  
without us!



みやぎアピール大行動実行委員会

# News

発行/みやぎアピール大行動実行委員会事務局  
メール: [appeal318@hotmail.co.jp](mailto:appeal318@hotmail.co.jp)

2023.9.15. FRI No.5

## 2023アピール大集会を終えて

代表 すみ としお

今年17回目を迎えた宮城アピール大集会・大行動は、天候にも恵まれ集会参加者120名大行進100名が参加し、9月3日仙台メディアテークで行われました。今回は、「障害者があたりまえに生きられる社会へ」をテーマに参議院議員の木村英子さんを講師にお招きして、これまでの差別や偏見を受けながらも、それをどう運動に繋げていかれたのか、学生時代からのエピソード等も織り交ぜながら、自立生活運動にかかわっていかれた話しや、24時間介助が必要な重度障害当事者として参議院議員になって議員活動をしていくのに欠かせない、介護を仕事には利用できないことが、あらためて明らかになりました。し厚労省は頑なに利用を認めようとせず、現在は参議院が介護費用を負担しているとのこと。全く持って不可思議な話だと感じて聞いていました。これからも当事者目線で差別等の問題を国会で提起して行ってほしいです。その積み重ねが「障害者への理解を広めていくことになると」思っています。

また第2部の当事者アピールでは、県立精神医療センター富谷市移転反対のWEB署名を一人で立ち上げ活動を続けている青木もらんさん(仮名)より、精神医療センターを含む再編問題がいかに「私たち」を無視して進められているのかを。トランスアドボケイツの山形純さんからは、性的少数者が求めていることは同等の「権利」であることを。現在優生保護法裁判を闘っている原告の東二郎さん(仮名)からは、勝手に強制不妊手術をされ、なお且つ虐待されて悲しかったこと。そして今、裁判にかける思いを。宮城県聴覚障害者協会副会長の菅原伸哉さんからは、手話言語条例が制定されて以降の動きと、手話言語を使うろう者がいることを理解してほしいと。それぞれの「今」をお話いただきました。また、恒例となった大行進にも多くの方に参加いただき、仙台の夕暮れどきに道行く人々へ自ら思いを訴えながら行進を行いました。

また残念ながら国の福祉行政は、批准された権利条約の実現にはほど遠い現実。真逆に進んでいると疑いたくなるほどの凄まじい防衛費増、福祉予算はどうなっていくのか。不安は募るばかりです。国へは責任ある行動と権利条約に沿った施策の実現に向けて、決してあきらめないで、仲間と共に声を上げて行くことこそが今とても大事なことだと思います。

宮城で生まれた、アピール運動もはや来年18目を迎えます。コロナ感染拡大に伴い新たな課題・差別が生まれながらも、それへ何とかしなければと、解決策をみんなで考えてきました。私たちは、障害害種別の枠を越えた運動によって、それぞれの抱える問題を共有しお互いの理解が広まることの、大切さを学んできました。これも皆さんの大変力強いご協力とご理解があつてのことと心から感謝致します。本当にありごとうございました。そして私たちの運動はまだ続きます。楽しくて共に歩いていきましょう。そして最後に「私たち抜きに私たちのことをきめるな!!」と思いをひとつにして…。



## 木村英子さんのFacebookより



木村英子 参議院議員

9月4日 14:59



昨日 #みやぎアピール大行動 にお招き頂き、私のこれまでの人生や障害者運動の歴史、障害者施策の課題などお話ししました。

多様な当事者の切実な声もお聴きしたので、今後の活動に活かしていきたいと思います。

みやぎアピール大行動実行委員会の皆さん、ありがとうございました。

#木村英子

